

「第8回ひょうごボランティア・スクエア21」 開催結果報告

1.開催目的

阪神・淡路大震災を契機としたボランティア活動の盛り上がりを定着させ、さらに広げていくために、地域・分野・セクターを越えて、交流・情報交換を図る機会を提供する。

また、県内各地域のボランティア活動団体間の交流促進、活動団体と企業等資金提供者とのマッチング等の取り組みを通じて、県民に対する県民ボランティア活動への理解と参加の促進を図る。

2.実施内容

(1) ボランティア・市民活動元気アップアワード

1) 開催趣旨

アワードという仕組みにより、県民の寄付の文化の意識の醸成を図るとともに、一般投票と公開審査を行うことで、県民とボランティア活動団体をつなぎ、ボランティアセクターの形成をめざす。

2) 開催日時

平成20年1月27日(日) 10:00~11:50 審査結果発表は17:10~17:40

3) 開催場所

コープこうべ生活文化センター2階ホール(神戸市東灘区田中町)

4) 内容

広く県民や支援団体に呼びかけて、資金造成を図るとともに、県内のボランティア活動団体を公募し、創造的な企画やこれまでの活動実績の発表を通じて公開審査を行い、賞金の授与を行った。

応募・受賞団体数

コース	応募件数	受賞団体数	
元気アップコース(企画提案型)	21件	元気アップ大賞(賞金80万円)	1団体
		元気アップ賞(賞金10万円)	2団体
こつこつコース(活動実績評価型)	27件	こつこつ大賞(賞金20万円)	1団体
		こつこつ賞(賞金5万円)	6団体

一般投票方法・投票数

コース	コース内容	審査方法	投票数
元気アップコース	「これまでの活動」と「2008年に企画している企画」を公开发表。企画内容が「画期的な提案であるか」「実現性があるか」「提案力・アピール性があるか」を審査。	審査員による審査(2次審査) 学識経験者や協賛団体から選考した審査員10名(9名分の配点)が、発表団体のプレゼンテーションや応募内容を見て審査。	
こつこつコース	団体結成時から現在までの活動実績を公开发表。活動の「継続性」「生活・コミュニティへの密着度」を審査。	1. 一般投票 「ふれあいマーケット」で300円以上の買い物をした参加者に投票券を配布し、団体の展示物・公开发表結果により審査。	118票
		2. 審査員投票 学識経験者や協賛団体から選考した審査員10名(9名分の投票)が、発表団体の展示物・公开发表を見て審査・投票。 審査員の投票に重きを置く。	90票

受賞団体一覧

賞（賞金）	団体名	所在地
元気アップ大賞 （80万円）	特定非営利活動法人 フードバンク関西 <事業名> 余剰食品の活用を通じて福祉団体を支援するフードバンク事業の方法の確立と普及	芦屋市
元気アップ賞 （10万円）	特定非営利活動法人 たかとりコミュニティセンター <事業名> ユース・メディア・アーツ・センター“Re:C”の設立	神戸市
	上郡町ボランティア協会 <事業名>子育て支援（ひろば）事業	上郡町

賞（賞金）	団体名	所在地
こつこつ大賞 （20万円）	特定非営利活動法人 兵庫県難聴者福祉協会	姫路市
こつこつ賞 （5万円）	ともしびこぼとグループ	神戸市
	姫新線ふれあい菜の花プロジェクト	たつの市
	篠山ナマステ会	篠山市
	特定非営利活動法人 多言語センターFACIL	神戸市
	特定非営利活動法人 環境21の会	明石市
	やまびこ会	神戸市

各大賞受賞団体の企画・活動内容概要

元気アップ大賞 「フードバンク関西」

<事業名>

余剰食品の活用を通じて福祉団体を支援するフードバンク事業の方法の確立と普及。

<活動内容>

食品流通の末端に、ボランティア活動によって余剰食品を廃棄せず食べ物として活用する、金銭が介在しない流通システムを創出する。これにより、命の糧である食べ物を、支援を必要とする人々に無償配分し、より多くの人達が豊かな食生活を楽しみ、お互いに助け合う社会の構築に貢献している。

<企画内容>

取り扱うのが食品であり、回収してから利用者が活用するまでの時間は、短いことが安全性の意味から大切である。このためには、フードバンク関西が組織を巨大化するのではなく、各地域内の余剰食品を地域内のボランティア団体が敷地内のそれらを必要とする人達に配分するネットワークの形成を促す。

こつこつ大賞 「兵庫県難聴者福祉協会」

<活動内容>

コミュニケーションが困難な中途失聴・難聴者の社会参加促進と福祉の増進を目指し、朗読訓練事業や要約筆記者の養成をはじめ、広報啓発事業として「耳マーク」の普及や機関誌の発行等を行っている。また、のじぎく兵庫大会では、約40名の要約筆記者を養成し高い評価を得た。

(2) ひょうごボランティア・市民活動フォーラム

1) 開催趣旨

地域にあるさまざまな資源を上手に組み合わせるとともに、ボランティアグループ、NPO、各種の地域団体、協同組合などがそれぞれ協力し、力を合わせるために、分野を越えた方々にその実践と課題をご報告いただき、市民力で支えるコミュニティづくりについて参加者とともに考える。

2) 開催日時

1月27日(日) 13:10~17:00

3) 開催場所

コープこうべ生活文化センター 2階ホール

4) 内 容

テーマ：市民力で支えるコミュニティづくり

～公益と共益、枠組みを超えた連帯へ！～

5) 構 成

ア パネルディスカッション1部

(ア) 解題・コーディネーター

山口一史氏(ひょうご・まち・くらし研究所常務理事兼事務局長)

(イ) パネリスト

山添令子氏(生活協同組合コープこうべ執行役員)

法橋聡氏(近畿労働金庫地域共生推進部長)

西海淳二氏(須磨歴史倶楽部理事長)

米山清美氏(にしのみや遊び場つくり会代表)

総合プロデュース：野崎隆一氏(ひょうご市民活動協議会代表)

イ グループディスカッション

パネルディスカッションの内容を踏まえ「地域社会で持続的活動をする難しさ」「連携の実績と障害」等について参加者間で議論を深めた。

ウ パネルディスカッション2部

グループディスカッションの内容をキーワードにまとめ“資源の木”に貼り出し共有した。



(3) ふれあいマーケット

1) 開催趣旨

ボランティア活動のPRを行うことを目的として開設し、県内のボランティア活動団体の情報交換と交流を図る。

2) 開催日時

1月26日(土) 11:00~17:00

27日(日) 11:00~16:00

3) 開催場所

コープこうべ生活文化センター 1階ロビー

4) 開催内容

東灘区自立支援協議会の小規模作業所等が製作している物品を販売する場を設置し、販売にあわせて、アワードの投票券の配布をおこなった。

・出店団体(6団体)

・売上高 190,800円

・投票券 130枚配付



出店団体	主な販売物
神戸市立 もとやま園	季節の葉書、コースター、クッキー
心身障害者小規模作業所 あすか	鍋つかみ、タオルハンガー
共同作業所 癒しの家	絵画、書画文集
就労継続支援事業B型 御影倶楽部	紙すき葉書、メッセージカード
小規模通所授産施設 咲くら工房	鞆煎そば茶、リングケーキ
自立訓練所 割塚	フルーツケーキ、マドレーヌ

(4) 前年度元気アップ賞受賞団体活動報告【報告団体(4団体)】

賞	団体名
元気アップ大賞	神戸フリースクール (事業名) 子どもステーション「神戸中央・子ども ぷらっと」の設置・運営
元気アップ賞	関西学院上ヶ原ハピタット (事業名) ちゃりんこプレゼン 2007
元気アップ賞	特定非営利活動法人 たかとりコミュニティセンター (事業名) 多文化な背景を持つ子どもたちによる表現活動 "Re:C"
元気アップ賞	特定非営利活動法人 ひょうごセルフヘルプ支援センター (事業名) 「全国のセルフヘルプグループおよび支援センター活動事例集」の発行

(5) その他

1) 阪神淡路大震災メモリアル展

画家、長尾和による震災の記録。25枚の水彩画と共に詩パネル(「長尾和と25人の詩人たち」より)を展示した。 1月16日~28日

主催: コープこうべ



2) 震災メモリアルコンサート

「~鎮魂と再生のために~震災メモリアルコンサート 21世紀へ伝えたい あなたの心に響く歌」と題してコンサートを開催した。

主催: コープこうべ

3) のじぎくボランティアフォーラム

「広がるボランティア活動の裾野」と題した中村順子氏(コミュニティ・サポートセンター神戸)による講演の後、地域課題別の対応を考えるワークショップを実施した。

主催: ひょうごボランティアプラザ



4) セカンドライフフォーラム

「セカンドライフに関する意識調査」の結果について、岩浅敬由氏(神戸生活創造センター)が報告した。その後、「セカンドライフと地域活動」と題して野崎隆一氏(神戸まちづくり研究所)が講演をおこなった。

主催: 神戸生活創造センター・コープこうべ

5) 企業・NPO協働奨励事業【5団体6社】

事業名	団体・企業名
太陽光発電・屋上緑化・炭の普及啓発	・特定非営利活動法人 環境21の会 ・菱井商事 株式会社
働く母親への就労支援 地域のリソースを活用して企業内保育所をつくる事業	・特定非営利活動法人 さんびいす ・株式会社 クラッシー
「市場」(マーケット)で「勝負!」する商品づくりプロジェクト~福祉系作業所とアート専門学校とのコラボレーション~	・特定非営利活動法人 市民事務局かわにし ・学校法人 コミュニケーションアート 大阪コミュニケーションアート専門学校
民間シェルターへの物品提供事業	・特定非営利活動法人 女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ ・株式会社 シャルレ ・P&G
多文化な子どもたちによる表現活動「Re:C」	・特定非営利活動法人 たかとりコミュニティセンター ・松下電器産業 株式会社

6) ひょうご県民ボランティア活動賞表彰式

様々な分野で県民ボランティア活動を実践されている個人及び団体を顕彰した。

主催: 兵庫県

3. 参加者数

約 1,800 名

開催事業	開催会場	参加者数	参加団体数	
ボランティア・市民活動 元気アップアワード	ホール	300名	元気アップ賞受賞団体	3団体
			こつこつ賞受賞団体	7団体
表彰団体・企業			5団体6社	
企業・NPO 協働奨励事業		134名	表彰者・団体数	52件
ひょうご県民ボランタリー活動表彰式		70名		
ひょうごボランティア・市民活動フォーラム				
ふれあいマーケット	ロビー	300名	共同作業所等展示・販売	6団体
元気アップアワード展示、企業・NPO 協働奨励事業	ロビー	300名	元気アップアワード展示 (前年度元気アップコース賞団体)	4団体
のじぎくボランタリーフォーラム	第3会議室	25名		
セカンドライフセミナー	第3会議室	50名		
地域づくり活動情報紹介コーナー	ロビー	150名		
震災メモリアルコンサート	ホール	200名		
震災メモリアル展	展示コーナー	200名		
			実行委員会構成団体	21団体
計		1,729名		83団体

<「ひょうごボランタリー・スクエア21」実行委員会 構成団体>

大阪ガス株式会社兵庫リビング営業部、関西電力株式会社、財団法人 木口ひょうご地域振興財団、近畿労働金庫、神戸市、社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会、財団法人 神戸YMCA、特定非営利活動法人 コムサロン21、生活協同組合コープこうべ、財団法人 コープともしびボランティア振興財団、特定非営利活動法人 しみん基金・KOB E、連合兵庫(日本労働組合総連合会兵庫県連合会)、姫路市、兵庫県、社会福祉法人 兵庫県共同募金会、兵庫県経営者協会、社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会、兵庫県労働者福祉協議会、ひょうご市民活動協議会(HYOGON)、Vo・信愛

4. 協賛金

総額 820,000 円

	協賛企業・団体名
1	株式会社 兵庫福祉保険サービス
2	兵庫県空調衛生工業協会
3	三井住友海上火災保険株式会社
4	大阪ガス株式会社 兵庫リビング営業部
5	大阪ガス労働組合兵庫ブロック
6	関西電力株式会社
7	財団法人 木口ひょうご地域振興財団
8	近畿労働金庫
9	生活協同組合 コープこうべ
10	財団法人 コープともしびボランティア振興財団
11	特定非営利活動法人 しみん基金・KOB E
12	連合兵庫(日本労働組合総連合会兵庫県連合会)
13	兵庫県経営者協会
14	兵庫県労働者福祉協議会
15	兵庫リコー株式会社

事業は、「赤い羽根共同募金配分金」を受けて開催した。